

第1章 経営戦略の趣旨

1. 経営戦略の目的

当市の公共下水道事業*は、主に住環境の改善と河川などの水質向上を目的に、1964（昭和39）年度に事業着手し、2013（平成25）年度には市街化区域*の汚水管整備が概ね完了しました。その後も市民の生活を支える下水道サービスの向上に取り組み、効率的で健全な経営を図り、継続的に下水道事業を推進するために、2020（令和2）年4月1日に地方公営企業法*の財務規定を適用し、公営企業会計を導入しました。

この間に日本の社会情勢は、人口減少・少子高齢化の進行・大規模災害の発生など、大きく変化しています。下水道事業においても、「建設の時代」から「維持管理の時代」へと移行していく中で、施設の老朽化や財政状況の悪化など、事業執行上の制約が増している状況です。今後も、将来にわたり適切な下水道施設の管理を持続的に実施することを基本とし、その上で、地域の状況・特性に応じた下水道*の事業運営を行うことが重要となります。

下水道事業に求められることが多様化する一方で、汚水管整備に伴いこれまで伸び続けていた下水道使用料収入は、節水意識の高まりや節水機器の普及などにより伸びが鈍化傾向にあります。今後は施策の展開だけでなく、コスト削減、事業の選択、様々な増収策の模索など、効率的で健全な下水道経営が求められています。

こうした中で、当市では、2012（平成24）年3月に策定した「町田市下水道ビジョン*」において、下水道事業の基本理念及び基本方針を定め、これを実現すべく5カ年の実行計画である「町田市下水道アクションプラン」により事業を進めてきました。

公営企業*として下水道事業を持続させていくためには、自らの経営についての確に現状把握を行った上で、中長期的かつ計画的な施策の展開、徹底した効率化、経営健全化を行うことが必要です。そのため、「町田市下水道アクションプラン（2017（平成29）年3月改定）」に代わって、その事業計画*を継承しつつ、経営基盤の強化と財政マネジメント*の向上を図り、基本理念の実現を目指すために、中長期的な経営の基本計画である「未来につなぐ下水道事業プラン」（副題「町田市下水道事業経営戦略」。以下、一部図表など正式名称を記載している箇所を除き、「経営戦略」と略記）を策定します。



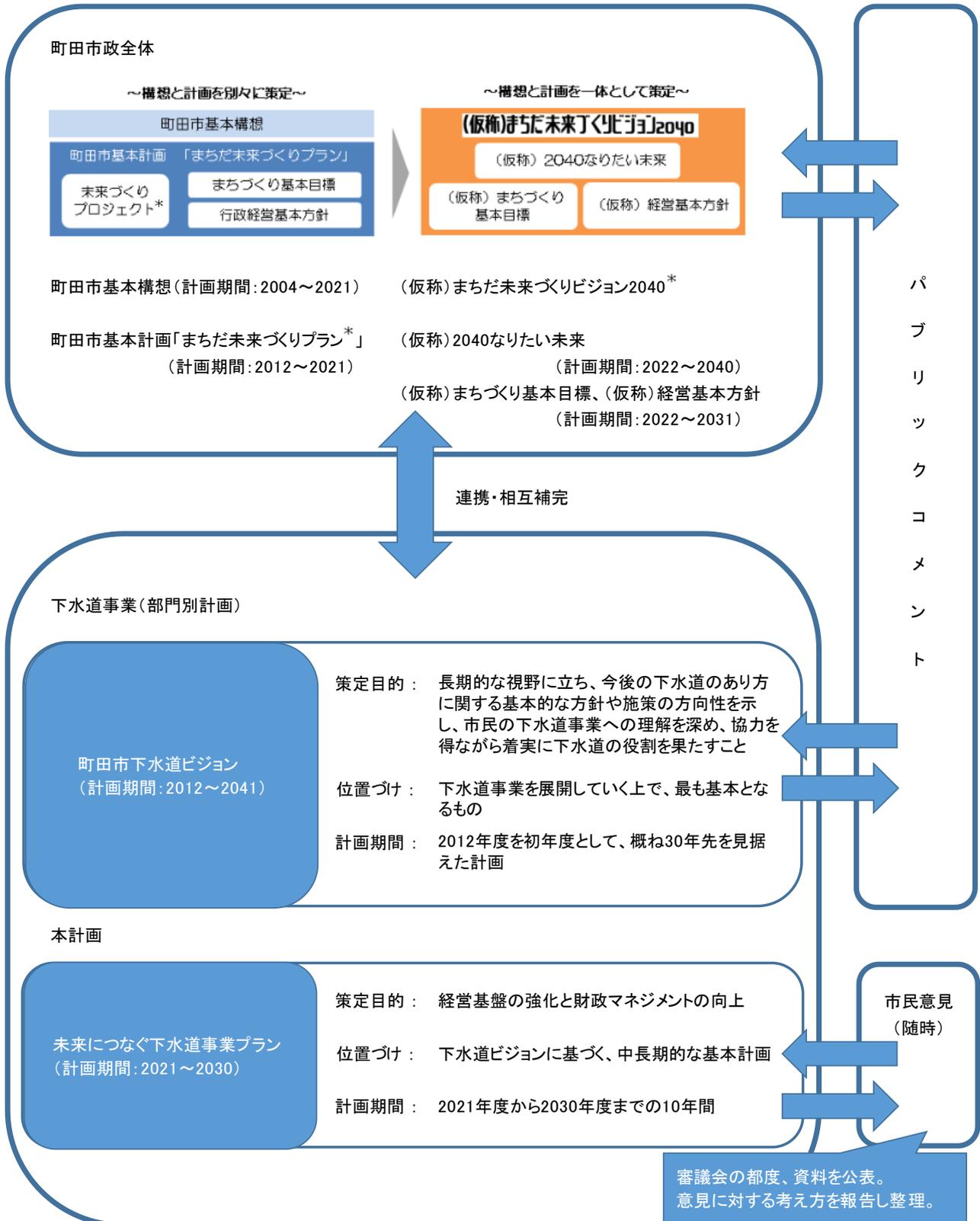


図 1-1 「未来につなぐ下水道事業プラン」(町田市下水道事業経営戦略)の位置付け



2. 経営戦略の内容

経営戦略では、当市下水道事業の現状と課題を踏まえ、下水道部の基本理念を達成するために計画的に事業を展開していきますが、事業を実施するにあたっての「投資計画」とこれに対する財源見通しである「財源計画」を均衡させた「投資財政計画」を作成し、財政面での管理も同時に行うことが重要となります。

また、持続的な下水道事業を実現するためには、財源の確保のほか、組織の効率化・経営健全化の取組みなどにより、投資を適正化することも求められます。

これらの取組みにより、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ります。

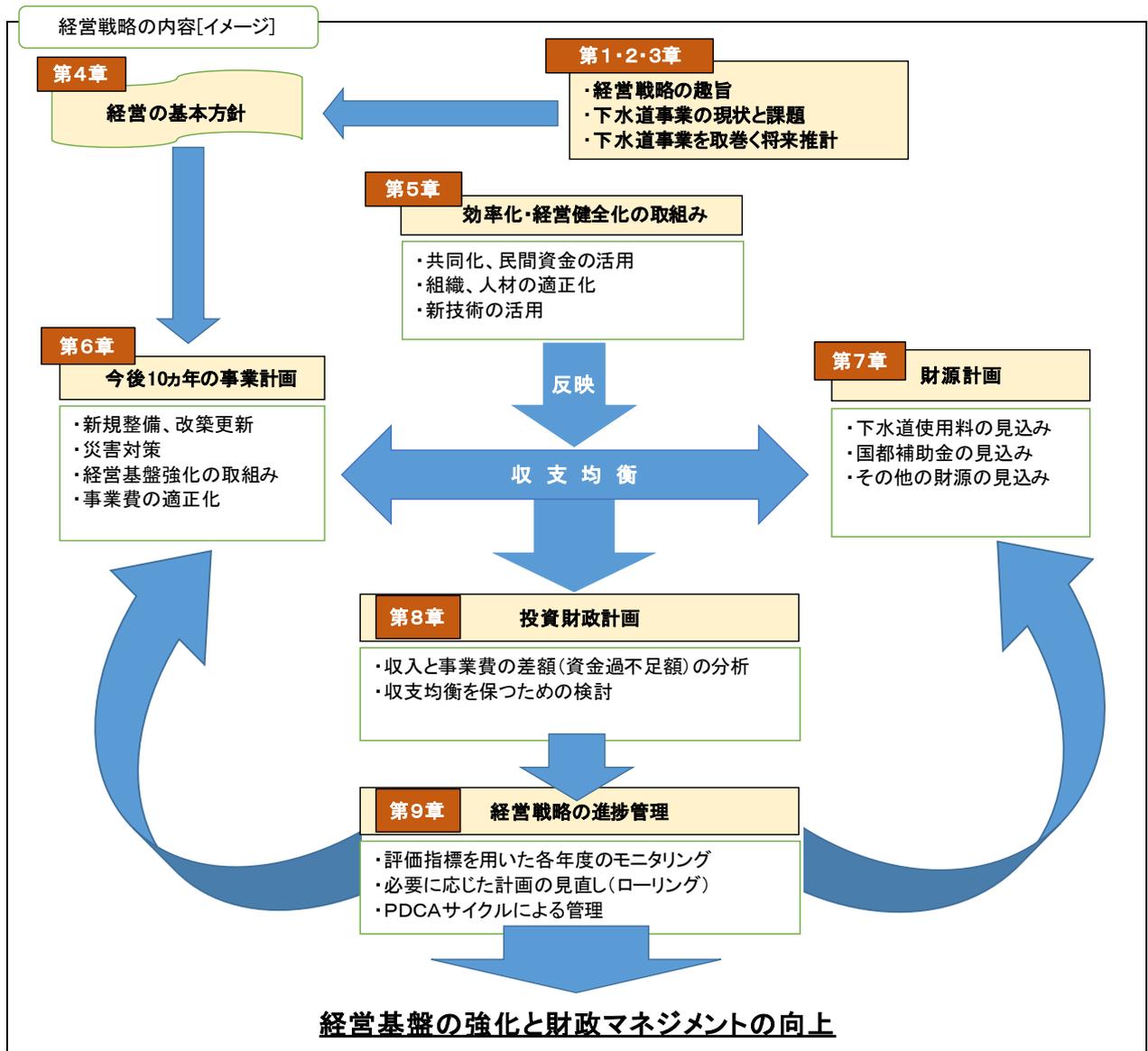


図 1-2 経営戦略の全体イメージ



3. 計画の期間

計画期間は、中長期的な視点で経営基盤の強化などに取り組むことができるよう、2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間とします。

表 1-1 経営戦略計画期間（イメージ）

計画	年度							見直し期間					
	2012	～	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
町田市下水道ビジョン	実行年度							評価・修正					
未来につなぐ 下水道事業プラン			策定	実行					評価・修正				
	モニタリング							評価・修正		モニタリング			

